

五箇山上流の 産廃処分場建設

岐阜県高山市で計画されている産業廃棄物最終処分場建設を巡り、県の環境影響評価(アセスメント)方法書の審査会が11日開かれ、専門家らが事業者による調査に向けた意見書をまとめた。庄川上流の計画地は自然豊かな森林域で付近には別荘などの住居

岐阜県審査会

や水道水源があることから「配慮が特に必要」として、環境負荷の低減に最大限取り組むことを求めた。意見書では、積雪や集中豪雨などへ対策を明らかにすることや地域住民へ丁寧な説明することも盛り込んだ。調査の結果、重大な影響を避けられない場合は事業内容の見直しの検討を促した。これを踏まえ、古田肇知事は19日までに事業者に知事意見書を出す。

計画地は岐阜・富山両県にまたがる世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の上流部に当たる。富山市の産業廃棄物処理業「アルト」の計画では、約10万平方メートルの敷地に約240万立方メートルの容量があり、廃プラスチックや水銀を使用した製品の産廃などを26年間埋め立てる。

「水源特に配慮を」

響を避けられない場合は事業内容の見直しの検討を促した。これを踏まえ、古田肇知事は19日までに事業者に知事意見書を出す。

庄川上流の産廃処分場計画 「住居・水源に配慮を」

岐阜県審査会 意見書まとめる

岐阜県高山市で計画されている産業廃棄物最終処分場建設を巡り、県の環境影響評価(アセスメント)方法書の審査会が11日開かれ、専門家らが事業者による調

査に向けた意見書をまとめた。計画地は自然豊かな森林域で付近には別荘などの住居や水道水源があることから「配慮が特に必要」として、環境負荷の低減に最大

限取り組みを求めた。意見書では、積雪や集中豪雨などへ対策を明らかにすることや地域住民へ丁寧に説明することも盛り込んだ。調査の結果、重大な影

響を避けられない場合は事業内容の見直しの検討を促した。これを踏まえ、古田肇知事は19日までに事業者に知事意見書を出す。

計画地は岐阜・富山両県にまたがる世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の上流部に当たる。富山市の産業廃棄物処理業「アルト」の計画では、約10万平方メートルの敷地に約240万立方メートルの容量があり、

廃プラスチックや水銀を使用した製品の産廃などを26年間埋め立てる。

この計画を巡っては、昨年11月に富山県西部5市の農業・漁業団体や自治会組織などが対策協議会を設立している。雨水や廃棄物に含まれている水分など埋め立て地から出る浸出水は、

処理施設に集めて基準を満たす水に処理してから庄川支流の六所川に放出する計画。このため、対策協議会は豪雨災害など万一の際に有害な物質が庄川に流れ出て、下流域に当たる県西部の農水産物や水道水の安全性を損なう可能性があるとして訴えている。

庄川上流・産廃処分場 「環境へ配慮 特に必要」

岐阜県審査会



岐阜県高山市に計画されている産業廃棄物最終処分場建設を巡る環境影響評価方法書の審査会。11日、岐阜県庁で

岐阜県高山市の庄川最上流部で計画されている産業廃棄物最終処分場建設を巡り、県の環境影響評価(アセスメント)方法書の審査会が11日開かれ、専門家らが事業者による調査に向けた意見書をまとめた。計画地は自然豊かな森林域で付近には別荘などの住居や水道水源があることから「配慮が特に必要」として、環境負荷の低減に最大限取り組みことを求めた。

意見書では、積雪や集中豪雨などへ対策を明らかにすることや地域住民へ丁寧に説明することも盛り込んでいる。調査の結果、重大な影響を避けられない場合は事業内容の見直しの検討を促した。これを踏まえ、古田肇知事は19日までに事業者に知事意見書を出す。

計画地は岐阜・富山両県にまたがる世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の上流部に当たる。富山市の産業廃棄物処理業「アルト」の計画では、約10万平方メートルの敷地に約240万立方メートルの容量があり、廃プラスチックや水銀を使用した製品の産廃などを26年間埋め立てる。